

岡谷市の学校給食について

岡谷市教育委員会
学校栄養士会

1



1. 学校給食の目標

(学校給食法第2条)

学校給食を実施するに当たっては、義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、次に掲げる目標が達成されるよう努めなければならない。



健康の保持増進



望ましい食習慣



社交性、共同の精神



生命・自然・環境



食に関わる人々



伝統的な食文化



生産・流通・消費

1. 学校給食の目標

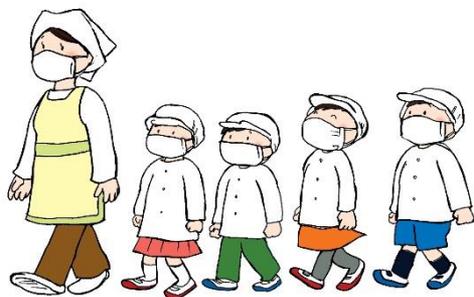
(食に関する指導の手引(文部科学省)より)

【食に関する指導の目標】

- 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
- 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。



3



2. 岡谷市食育推進計画



食育推進の基本目標

～健やかに楽しく食べて、食の大切さを育もう～

《食育目標1》

おいしく食べて食を楽しみ、豊かな心を育もう

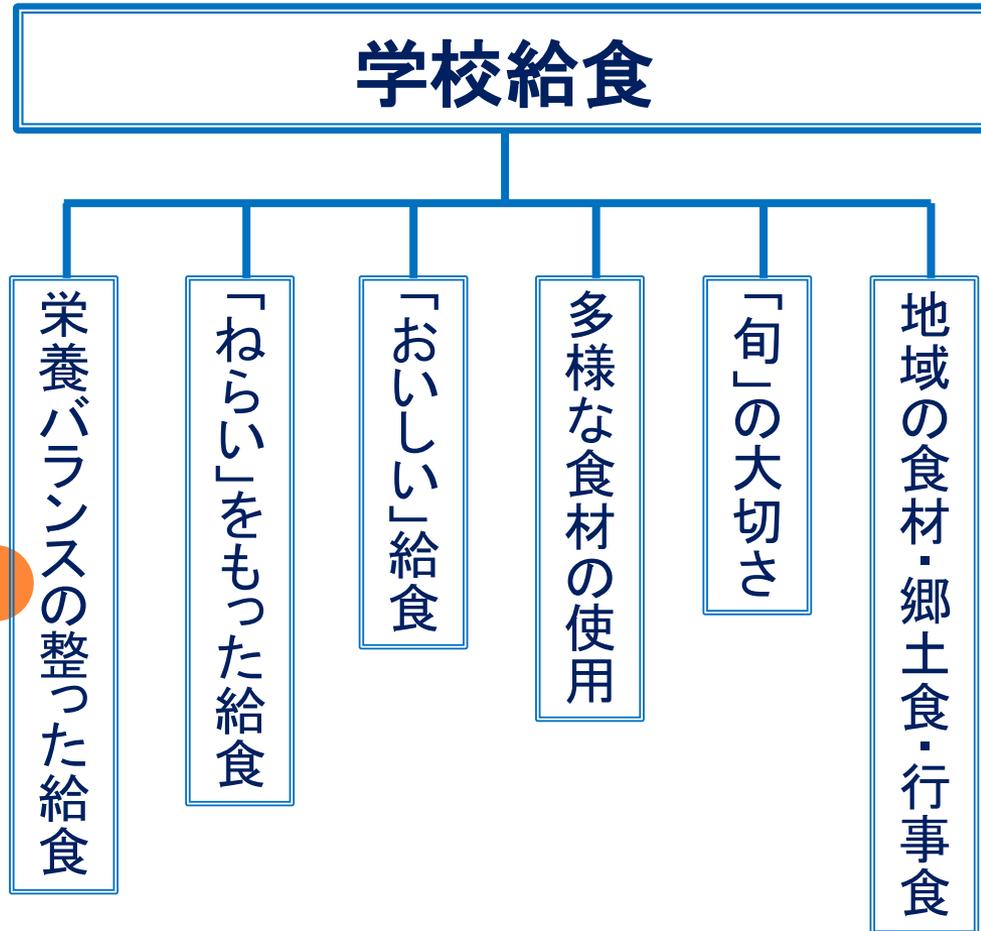
《食育目標2》

かしく食べて、健康なからだをつくろう

《食育目標3》

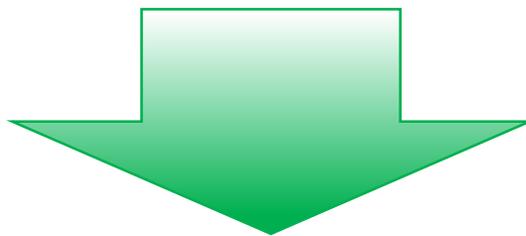
やすらぎある郷土に親しみ、地域の食材や
食文化を理解して伝えていこう

3. 学校給食に対する思い



4. 安全でおいしい学校給食

「岡谷市衛生管理マニュアル」、「学校給食衛生管理の基準」等に基づき、安全でおいしい給食の提供を心がけています。



給食室の1日の様子を
紹介します！



まずは、調理員の身支度

髪の毛が出ないように
ネットをしてから
帽子をかぶります



給食室用の
くつをはきます

手洗い

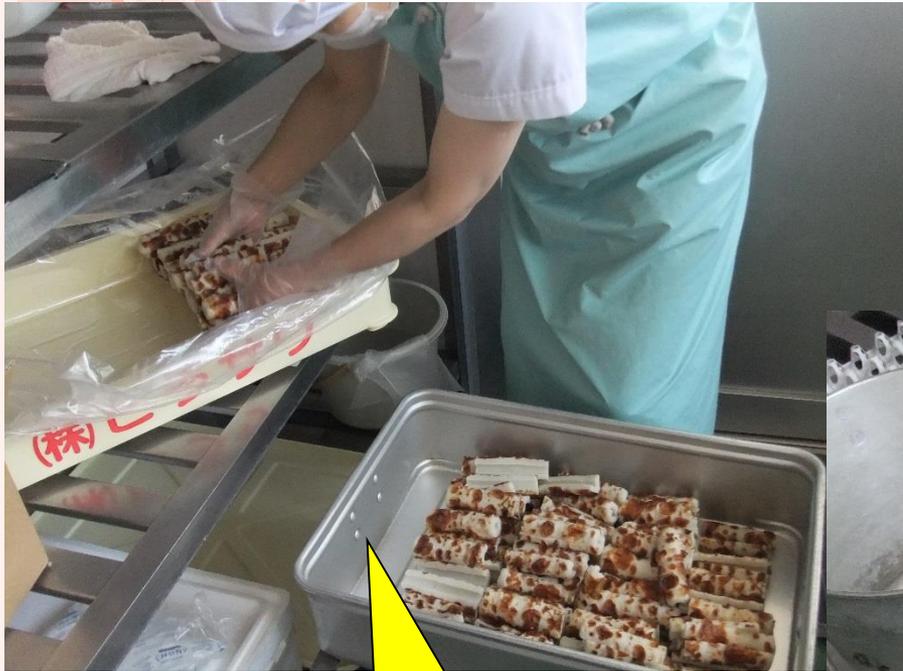


ひとりずつ専用の
つめブラシ



アルコール消毒

検収（品質の確認）



たまごはひとつずつ
割って確かめます



品質を確認しながら別の容器に移し替えます

温度も確認して、記録します



食材ごとに
分けて袋に
入れます。



7.5°C



牛乳の検収



クラスごとに
牛乳を分けます



7.2°C

野菜の下処理



流水で3回
洗います



野菜を茹でる



中心温度計で
温度を測ります

81.7°C

冷却・水切り



冷ました後も
温度を確認



主菜（チーズ春巻き）

春巻きを
1枚ずつはがします



15



鮭、青じそ、チーズ
を春巻きの皮で
包みます。
3人で460個！

汁物



煮干しで出汁を
ていねいにとります



できあがりの温度を
確認します



配缶

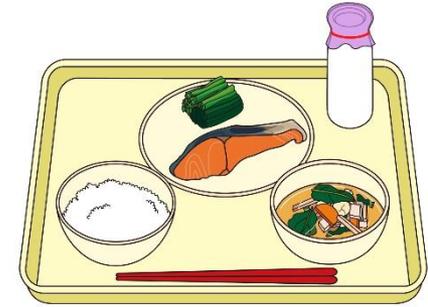


手袋をして
配缶しています



クラスごと配缶します

5. 学校給食の形態



◎完全給食 週5日(主食のみ委託調理)

◎米飯(週3回)

諏訪市豊田近郊で収穫されたひとめぼれを使用。食物繊維を補うために麦を5%混入

◎パン(週1回)

小麦粉は、長野県産35%、北海道産45%、外国産20%の配合で使用

◎ソフトめん(週1回)

ソフトめんは、長野県産小麦粉100%を使用。中華麺は、パンと同じ配合で使用

6. 地産地消への取り組み



地元生産者と子どもたちの交流

生徒会活動の一環として生産者の畑へ行き、畑の手伝いを通じた交流を実施。



《子どもたちの感想から》

- ・10分程度の草取りでも疲れたのに、これを毎日続けるのは大変だと思いました。農家の皆さんの大変さがわかりました。
- ・心を込めて、野菜作りに真剣に取り組んでいて、農家の皆さんの思いがとても伝わってきました。

地産地消の取り組みを通じて・・・

- ・地産地消の取り組みにより、子どもたちが地域の野菜と生産者を身近に感じることができ、生産者との交流を通じて感謝する気持ちが醸成されている。





ありがとうございました

学校給食費徴収・管理業務の改善・充実

平成30年度概算要求額 47百万円(新規)

事業概要

教職員の業務負担軽減等の観点から、学校給食費の徴収・管理業務について、学校から自治体への移管を促進するため、自治体による徴収・管理の課題の解決方法等の調査研究を行い、モデル事業での実践・成果等も踏まえ、学校給食費の徴収・管理業務に関するガイドラインを作成する。

先進的な自治体における徴収・管理の課題の解決方法や効果等の事例を収集・分析

学校給食費の徴収・管理業務に関するガイドラインの作成

学校から自治体への事務移管
学校現場の負担軽減
業務の適正化の推進

◆学校が行う徴収・管理（教職員による徴収・管理）



◆自治体が行う徴収・管理（担当部署による徴収・管理）

